

1年1組 英語科学習指導案

1. 単元名 Unit 8 はじめてのカナダ旅行

2. 単元目標

- (1) 疑問詞 **where, whose** を使った文や人称代名詞の目的格を用いた言語活動に進んで取り組もうとする。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- (2) 疑問詞 **where, whose** を使った文や人称代名詞の目的格を使った文を用いて、適切に表現したり問答したりできる。 (表現の能力)
- (3) 疑問詞 **where, whose** を使った文や人称代名詞の目的格を使った文の内容を聞き取ったり、読み取ったりすることができる。 (理解の能力)
- (4) 疑問詞 **where, whose** を使った文とその応答の形・意味・用法や人称代名詞の目的格の使い方を理解している。 (言語や文化についての知識・理解)

3. 指導にあたって

(1) 教材観

この単元においては、海外旅行出発に際し、自宅から空港到着までに起きうる出来事を話題にし、探し物をする場面や持ち主について尋ねる場面などが扱われている。どの場面も言語の使用場面として、身近にあることなので、それぞれの表現を学ばせるには格好の題材であるといえる。

また、言語材料としては、場所を尋ねる表現や持ち主を尋ねる表現とその応答、人称代名詞の目的格が扱われている。特に代名詞は生徒に定着しにくいので、確実な定着を図りたい言語材料である。

(2) 生徒観

このクラスは、発音や音読に対して意欲的に取り組む生徒が多い。また、大半の生徒が教師の説明に真剣に耳を傾け、ペア活動にも意欲的な姿勢が見られる。様々な活動の中で教え合う場面もよく見られ、学習の雰囲気もよい。反面、課題としては、一つのことに對して長時間集中して取り組める生徒が少ないということである。

このような学級にあって、これまでに **be** 動詞と一般動詞の現在形を中心に、一人称・二人称・三人称や疑問詞を用いた疑問文など、コミュニケーションを図るための言語材料をかなり学んできた。疑問詞 **what** や人称代名詞の主格・所有格を含め、関連する既習事項については概ね理解できている。

(3) 指導観

導入段階において、具体物や写真あるいはジェスチャーを用いたりしながら、できるだけ生徒が関心を示すよう指導に工夫を凝らし、「課題」を明確に示して、ペア活動やグループ活動を積極的に取り入れた活動を展開したい。また、ピクチャーカードやヒントカードなどを活用して生徒の理解を助け、できるだけ実際の状況に近い場面を提供して対話や音読練習に取り組ませたい。

特に本時では、ゲームやインタビューなどを通して、生徒たちが互いに学び合っていることが実感できるような授業づくり、雰囲気づくりを目指したいと考えている。

4. 評価計画（総時数8時間）

		評 価 の 観 点				
次	学習内容	①コミュニケーションへの関心・意欲・態度	②表現の能力	③理解の能力	④言語や文化についての知識・理解	
一	1	「～はどこ？」について学ぶ。		Where's ~? を使って問答できる。	Where's ~? の文とその応答の形・意味・用法を理解している。	
	2	本文の内容を理解しながら、対話する。	本文の対話練習に進んで取り組もうとする。		Where's ~? の文を用いた英文の内容が理解できる。	
二	1	「だれの～？」について学ぶ。		Whose ~? を使って問答できる。	Whose ~? を用いた英文の内容が理解できる。	
三	1	人称代名詞の目的格について知る。		him, her を使って表現できる。	人称代名詞の目的格の形・意味・用法を理解している。	
	2	本文の内容を理解しながら、対話する。	本文の対話練習に進んで取り組もうとする。		him, her を用いた英文の内容が理解できる。	
四	1	人称代名詞について学ぶ。			人称代名詞を用いた英文が理解できる。	人称代名詞の意味や使い方について理解している。
	2	空港や機内での対話を聞く。	対話の内容をしっかりと聞き取ろうとしている。		空港や機内での対話の内容が理解できる。	
	3	単元テストをすすする。		学習した文型を使って表現できる。		疑問詞 where, whose を使った文と人称代名詞の使い方を理解している。

5. 本時の学習

- (1) 題材 Unit 8 ものをさがそう
- (2) ねらい Where ~? の文とその応答の形・意味・用法を理解し、問答することができる。
- (3) 準備 具体物、ワークシート、ヒントカード、ピクチャーカード、CDプレーヤー
- (4) 展開

過程	学 習 活 動	予想される生徒の反応◇と指導上の留意点 ◆	支援○と評価◎
導入 5分	1. Greetings 2. 課題をつかむ活動	“Good morning, teacher.” ◆写真をみせるなどして注目させ、興味をもたせる。	
展開 40分	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">Show & Small talk</div> I'm very happy. I'm going to go to this country. See you. Where is my passport? Oh, it's on my back. Thank you, everyone. 3. 課題をつかむ	◆教師の探し物を生徒に気づかせる。 ◇S1: Back. S2: Your back. S3: 背中	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">どこにあるか、友達に尋ねてみよう。教えてみよう。</div> 4. 課題にせまる活動① Where is my passport? It's on the desk. It's under the desk. It's by the desk. on, under, in, by を使った文の口頭練習をする。 5. 課題にせまる活動②	◆具体物を使いながら、説明し、パスポートがどんな状態になっているかに気づかせる。 ◆ワークシートで、その尋ね方と教え方を確かめさせる。	◎Where ~? の文との応答の形・意味・用法を理解している。 (ワークシート)
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">宝探しをしよう。</div> T: Where is my ball? S: Where is my book? 6. 課題にせまる活動③	◆活動の説明をする。 ◇S: It's by the desk. などと答える。 It's under the desk.	
まとめ 5分	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">インタビューをしよう。 (お互いのものがどこにあるか問答しあい、絵を完成させる。)</div> 7. まとめ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">場所を尋ねるときは where を使い、説明するときには on, under, in, by を使う。</div>	◆ワークシートを配布し、説明する。 ◇S1: Where is my book? S2: It's on the table. S2: Where is my guitar? S1: It's by the desk. S1&S2 が問答しながら絵も描く。 (これを繰り返す)	◎Where ~? を使って問答することができる。(行動観察) ○課題解決のできていない生徒には単語や文の読み方、活動の仕方を教える。 ○早くできた生徒には、新しいシートを配布し、それをしよう指示する。
	8. 振り返り 「ものがどこにあるか」尋ねるときどう言うのかな? 教えるときはどう言うのかな? ・全員で音読する。	◇各生徒が用紙に解答する。	

